

骨粗鬆症の検査(骨密度測定検査)の流れについて

1 検査概要

- RA 法という低線量 X 線を用いて両手の骨を撮影し、骨密度(T スコア・Z スコア)を算出します。
- 数値化された骨折リスクを基に、治療開始のタイミングや生活改善の指標を決定します。

2 受診可否・予約方法

- 受付で「骨密度検査希望」とお伝えいただき、ご希望の日時をお知らせください。紹介状は不要です。
- 診療時間内であればいつでも検査可能です。

3 検査の流れ

1. レントゲン室で両手・両手首の金属類や時計を外していただきます。
2. 検査台に両手をのせ、レントゲン撮影を行います。

4 結果説明

- 撮影データの解析に時間がかかるため、結果は 10 日～2 週間後に準備が整います。
- 次回診察時に医師が T スコアなどをわかりやすく説明し、必要に応じて治療や生活指導をご提案します。

5 検査間隔の目安

- **高リスク(骨粗鬆症治療中・閉経後女性・ステロイド長期内服など)**の方は 6 か月ごと。
- 初回で異常がない場合でも年 1 回程度 の定期チェックを推奨します。

6 注意事項

- 妊娠中または妊娠の可能性がある方は必ず事前にご相談ください。